

**テーマ 「事業を成功させるために、みんなの意見を聞いてみよう」**

2グループに分かれて、テーマに基づき、情報交換及び意見交換を行った。

**<第1グループ>**

炭谷委員長、小澤委員、市民活動調整担当課長、市民活動支援課職員

参加団体（東寺方自治会、永山地区置戸町の交流を進める会、NPO 子育て応援団そらのたね、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、貝取こぶし館緑花委員会、NPO 夢のマネジメント社）

<市民活動をしている中で、団体が苦労している事柄を4つ分野に分けて出し合った>

**\* 資金調達・補助金に関わること**

- ・無料で実施していた事業を、参加費を徴収することで対応した。料金を徐々に上げていても、参加者は減らなかったのが、ホッとした。
- ・文庫連は、20年度の本補助金を応募し、更に他の補助金も応募していた。結果として他の補助金を通ったので、本補助金は取下げしたが、いろいろな補助金をチャレンジしてみてもどうか。
- ・団体が活動している内容を理解してもらわないと、会費にしても寄付にしても出してもらえない。PRの項目と重複するが、積極的に広報活動していく必要がある。

**\* 人的支援・協力者・仲間づくり、ネットワークづくりに関わること**

- ・平成20年度、本補助金の自己資金の負担が大きくて、応募を断念したが、同様の活動している仲間（団体）や社会福祉協議会との連携もでき、事業を継続することができた。その間、この補助金で活動が継続できたことに感謝している。

**\* PRに関すること**

- ・たま広報については、市民活動専用の欄（枠）があると良い。また、専用の紙面を作成して、広報に差し込む方法なども考えられるが、広告収入など工夫してみると良いのではないかと。
- ・市のホームページはもう少し見やすくなると良い。
- ・公式ホームページや検索サイトを活用して事業のPRに活用して欲しい。

## <第2グループ>

松本副委員長、寺田委員、菊池委員、関戸公民館職員、市民活動支援課職員  
参加団体（多摩市文庫連絡協議会、TAMA 映画フォーラム実行委員会、Artists Link  
Tama、NPO 法人草むらの会、プロGRESSジャパン）

< 資金調達の方法や団体間の交流について、情報交換を行った >

\* 資金調達の方法、工夫はどのようにしているのか、又考えているのか。

- ・ 作家や出版社に作成した資料の売り上げの何%かをもらう。
- ・ パペットの販売
- ・ カンパ
- ・ 市民ニーズの調査。
- ・ 団体の PR
- ・ インターネットで補助金を交付している企業や財団などを調べて申請する。
- ・ 障がい者団体だけでなく市内の多様な団体とつながりを持つ。
- ・ NPO の法人格を持つと信用度が増す。
- ・ 法人格を持つことにより申請できる補助金制度もある。
- ・ とにかく自分達で動いて、支援者を見つける。
- ・ インターネットの書き込み等で PR する。
- ・ メセナのリストをつくり協賛金や支援を仰いでいるが、むずかしい。
- ・ H.P のバナー広告募集したが、去年の応募は 1 社のみだった。
- ・ 他団体と交流を持つことによって、互いの団体に利益が生じる。
- ・ 企業や商店街の協賛を得ている。
- ・ 団体代表の講演

\* 様々な分野の団体と交流の機会を持つためにどのようなことをしたらよいか

- ・ 同じテーブルで話す場を設ける
- ・ 団体間の情報を共有するためにメーリングリストを作成する。